

# UAE宇宙庁長官が視察

## タウンキャンパス 最先端技術に関心

# NEWS CIT

2018  
3.15  
ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部  
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼  
2丁目17番1号  
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行



① 災害対応ロボットを見学するUAEの視察団  
② ファラシ宇宙庁長官から「火星」の本を贈られる瀬戸熊理事長

荒井PERC 探査手つかずの砂漠で  
UAEは建国50周年の2021年に火星へ無人探査機を打ち上げる計画を進めており、宇宙・惑星科学研究者の育成が喫緊の課題だ。そこで本学



③ UAEの砂漠で発見した隕石  
④ 荒井PERC探査手つかずの砂漠で発見した隕石を手にする内閣府の行松審議官

# UAEで隕石発見

## 荒井PERC 探査手つかずの砂漠で

互選理事  
竹田 康宏氏  
徳住 祥蔵氏  
縣 良二氏  
任期満了に伴う評議員互選理事の選出が2月7日、東京都文京区の東京ガーデンパレスで開催された理事会・評議員会で行われ、理事に竹田康宏氏、務局長、縣良二氏(株アサヒエージェンシー取締役社長)、徳住祥蔵氏(本学前監事)が再選された。

理事に3氏再選  
荒井PERC探査手つかずの砂漠で発見した隕石は、今回の荒井PERC探査手つかずの砂漠で発見された。このためUAE宇宙庁は、今回の荒井PERC探査手つかずの砂漠で発見した隕石を、同連邦での

本学が宇宙科学教育支援をすることになったアラブ首長国連邦(UAE)が2月号で既報IIのファラシ宇宙庁長官が3月4日、東京スカイツリータウンキャンパスを視察した。

UAEは建国50周年の2021年に火星へ無人探査機を打ち上げる計画を進めており、宇宙・惑星科学研究者の育成が喫緊の課題だ。そこで本学

惑星探査研究センター(PERC)が日本の大学グループを組織して、UAEの大学2校の宇宙科学教育を支援すること

が1月、瀬戸熊修理理事長らが訪問して決まった。ファラシ長官は3月3日に東京で開催された第2回国際宇宙探査フォーラム(ISEF2)に出

面と、角の取れた丸まった外形③溶融殻に空気力学的な形状である筋状の組織がある④溶融殻の下に白い新鮮な内部が見える—などの特徴から、見つけた瞬間に「隕石だ」と直感したという。今後、鉱物分析によって隕石であることの確認と分類を行う。

### ニュースガイド

- 2面 優秀賞に石井さん山本さん/立野さんロボワン優勝、皆川さんデザイン賞/女性の活躍支援、瀬戸熊理事長が会合に/本学志願8万人超す
- 3面 就活本番OB・OG懇談会/リュウグウ捉えたカメラ、山田研究員らが開発/高校生に惑星科学講演/洪研究員らタイトルン・原始地球の大気生成過程解明
- 4面 地域貢献で初報告会/青木准教授、宇井さんが講演/流星自動検出コンペ/ステアラボAIシンポ
- 5面 R&D PMシンポ/第38回祝勝・奨励会
- 6面 定年退職者

星探査ゾーン)とArea AI(ロボット技術ゾーン)をくまなく見て回り、特に4億5000万年前に宇宙から飛来した鉄隕石を鍛え上げた「天鉄刀」に強い関心を示していた。

荒井PERC探査手つかずの砂漠で発見した隕石は、今回の荒井PERC探査手つかずの砂漠で発見された。このためUAE宇宙庁は、今回の荒井PERC探査手つかずの砂漠で発見した隕石を、同連邦での

# 優秀賞に石井さん山本さん

29年度県内大学卒論発表会



受賞した山本さん(左)と石井さん

情報通信技術系の学生を対象とする平成29年度・千葉県内大学卒業論文発表会(県情報サービス産業協会主催、千葉県、県地域IT化推進協など後援)が2月21日、千葉市美浜区の幕張ワールドビジネスガーデン・マリブウエスト棟で開催された。本学からは石井祥由樹さん(電気電子情報工学科4年、今野将研究室)と山本勤さん(同、久保田裕研究室)が研究を

## 石井 祥由樹さん

「動的環境下における自律型ロボットの協調移動制御方法に関する研究」  
従来の方法では無駄が多かった自律型ロボットの移動について、何台かの自律型ロボット間で障害物情報を共有し無駄な移動を減らす協調移動制御方法を提案した。多数

優秀賞を受賞した。2人の発表内容・感想は次の通り。

## 山本 勤さん

「無線センサネットワークにおける移動シンクノードを用いたセンシングデータ収集」  
センサネットワーク全体の消費電力削減のため、移動しながらデータを収集するシンクノード(中継役)として、ドローンを使う方式を提案した。ドローンの移動経路の導出方法を考案し、シ

# 女性管理職 育てよう

瀬戸熊理事長 賛同者会合に参加

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの行動宣言賛同者のミーティング」が3月5日、東京都千代田区の経団連ホールで開催され、本学の瀬戸熊理事長が参加した。この日の参加者は企業経営者を中心に37人。大学関係者は瀬戸熊理事長1人だった。平成26年に首相官邸で

「研究で苦労したこともあり、受賞はともうべ、消費電力を半分程度に削減できた。」  
「賞を頂き、大変光栄に思います。受賞を励みに、より一層精進したいと考えています」

の音頭で開催されたこの日のミーティングでは、37人の参加者がテーマ別に6つのテーブルに分かれて、自社や組織の取り組みを個々に報告した後、課題などについて意見交換。

瀬戸熊理事長は「女性の役員・管理職の育成と登用」をテーマにしたテーブルに入り、本学の取り組みを報告。テーブル代表として6人のメンバーの意見の取りまとめを

行っており、全参加者に報告した。この中で瀬戸熊理事長は「女性管理職の育成・登用が組織内で成功するか否かのキは、ひとえに経営者の本気度にかかっている」と結論づけた。

# ロボワン OB立野さんが優勝 皆川さんデザイン賞

総工研 ロボット技術を生かし

2足歩行のロボット同士が格闘する第32回ROBO-ONE(ロボワン)二足歩行ロボット協会主催)は2月24、25日、東京都江東区の日本科学未来館で開かれ、本学文化会・総合工学研究会(総工研)OBの立野伸英さん(2017年、機械サイエンス学科卒)製作のロボット「Speranza(スペランツァ)」が優勝。現役部員の皆川泰輝さん(未来ロボティクス学科2年)の「Typerion(タイペリオン)」がデザイン賞を獲得した。



優勝した立野さん

研でマイコンカー班の班長を務めていた。皆川さんの「Typerion」は第26回KONDO戦で敗れベスト16に終わ

BATTLE学生選抜クラス(2月10日)で優勝しシード権を得て決勝トーナメントに出場。3回戦で敗れベスト16に終わ



決勝トーナメントでTyperion(左)を操る皆川さん(中央)

# 本学志願 8万人超す

30年度入試 最多を更新

平成30年度のB日程入学試験が2月17、18日の2日間、また大学入試センター利用入学試験(中期)本学試験なし)、3月5日午前にC日程入学試験、同日午後大学入試センター利用入学試験(中期)には3187人(昨年より1007人増)、C日程入試には5176人(昨年度より977人増)、センター利用入試(後期)には2504人(昨年度より1032人増)が志願した。平成30年度の本学志願



会合で説明に立つ瀬戸熊理事長

# 「好況」にも気引締め

### 教職協働で最高内定率 目指す

会社説明会が3月1日に解禁されて本格突入した2019年卒業予定者の就活戦線で、千葉工大生にはこれまで以上に企業の熱い視線が注がれている。好況感を背景に人手不足が続く、「就活前倒し」が報道されているが、本学は教員と職員が力を合わせた「手づくり」の学生支援で、過去最高の内定率達成を目指している。

たし写真。マスコミで「就活前倒し」が盛んに報道されていることが影響しているとも考えられる。しかし、本学の対策は万全だ。

本学の就活学生に対する支援の特徴は、教員と就職・進路支援部の職員が一体となって、個々の学生に最適な支援プログラムを手づくりし、内定

を獲得するまで個別支援の手を緩めないことだ。プログラムづくりには本学への理解が深い企業の役員や採用担当者の力を借りることもあるが、専門企業などによる「既製プログラム」は活用しない。ここでは「学生と教職員の信頼関係が第一」という大学トップから発せられた理念がある。

で、本学は「指針厳守」に徹していく姿勢だ。その上で、福江部長は就活生にこうアドバイスしている。

「就活は『早く準備した人ほど、早く結果につ

ながる。これが鉄則です。だからこそ、今のような情勢下では、自分がチャレンジしたい企業の動きを早く、しっかりと捉えておいてください」

＊

就職委員会と就職・進路支援部は、今月15、16、19日に合同企業説明会を開催。4月以降も数回の開催を計画しているほか、随時、個別企業説明会を開く。

ウ」からのサンプルリターンを目指している「はやぶさ2」(2020年帰還予定)との共同研究が期待されている。このため「オサイリス・レック」は「アメリカ版はやぶさ」と呼ばれることもある。

ローレッタ教授は「2つのミッションがともに成功すれば、科学的な成果は4倍かそれ以上になる」と話した。

「オウムアムア」はハワイの言葉で「非常に遠いところから来た使者」という意味。昨年10月に

ハワイ・マウイ島の天文台で初めて観測され、その後、フランスの天文台の観測結果などから、ミチ教授が観測史上初めこの恒星間天体であることを論証し、軌道などを明らかにした。

同教授によると、「オウムアムア」は長さ約1000km、太さは長さの10分の1程度の細長い形で、太陽系の惑星の軌道面のはるか上から突っ込んできて太陽に接近。急激に方向を変え、猛スピードで地球をかすめて、来年には木星の軌道を超

# 就活本番

「この春卒業予定の現4年生の内定率は、過去最高だった昨年度をさらに上回っています。その勢いを受けて、現3年生の就活環境も全体的には非常にいい雰囲気です」と就職・進路支援部の福江聡部長は話す。

2月24日、津田沼キャンパスで昨年12月に続いて開催されたOB・OG懇談会に参加した企業は昨年並みの128社だったが、参加学生は894人で昨年より約50人増え



「前倒し」が趨勢となる中、面接指導を柱に就活生の「実戦力」を鍛えることに主眼が置かれている。

目下の就活戦線全般は「前倒し」が趨勢となる中、面接指導を柱に就活生の「実戦力」を鍛えることに主眼が置かれている。

ループディスプレイやプレゼンテーション力などをつける日ごろのキャリア教育に加え、面接指導を柱に就活生の「実戦力」を鍛えることに主眼が置かれている。

惑星探査研究センター(PERC)は2月25日、東京スカイツリータウンキャンパスで「宇宙をひもとく惑星科学の最前線」と題した高校生のための講演会を開いた。

講師は米航空宇宙局(NASA)の小惑星探査機「オサイリス・レック」主任研究員のダン・ローレッタ・アリゾナ大教授と、太陽系外から飛来した謎の天体「オウムアムア」を発見したカレン・ミーンチ・ハワイ大教授で、2人も日本

の高校生に向けた講演は初めて。

「オサイリス・レック」は地球の軌道を交差する地球近傍小惑星である直径500m程度の「ベンス」からサンプルを持ち帰るために、2016年9月に打ち上げられた。地球帰還は2023年の予定。

「ベンス」の表面には炭素、有機物、水を含んだ鉱物が大量にあると考えられており、そのサンプルリターンに成功すれば、地球生命の起源解明

に大きく役立つと期待されている。

また、日本が2014年12月に打ち上げて、地球近傍小惑星「リュウグウ」

「オウムアムア」はハワイの言葉で「非常に遠いところから来た使者」という意味。昨年10月に

さらに光化学反応を計算する数値モデルを構築し解析したところ、従来想定されてきた低次の炭化水素重合反応よりも、粒子表面でメチルラジカル(エネルギーが高まり反応性が高くなった分子)の付着による不均一反応(固体と気体など2種類以上の相の共存状態での反応が顕著)であることがわかった。

これらの結果から、タイタンの中層大気では不均一反応による粒子の成長が卓越すること、また原始地球では従来予想よりも有機物エアロゾル層が薄くなる可能性が示唆された。

タイタン以外に冥王星や太陽系外惑星でもヘイズ層が確認されており、今回得られた知見はそんな天体にも広く適用できると予想されている。

## はやぶさ2 小惑星リュウグウ撮影の高性能カメラ

# 山田研究員らが開発

2014年12月に打ち上げられた宇宙航空研究開発機構(JAXA)の小惑星探査機「はやぶさ2」が2月26、27日、小惑星Ryugu(リュウグウ)の撮影に成功した。リュウグウの姿を捉えた光学航法カメラ(Optical Navigation Camera: ONC)は、本学惑星探査研究センター(PERC)の山田研究員が開

発に大きく関わったもので、順調な性能を発揮している。

「はやぶさ2」は、目標天体リュウグウへ今年7月に到着予定で、イオンエンジンの連続運転による飛行を続けている。打ち上げから3年3カ月

を撮影したように、観測機器試験の一環として、(想定される)リュウグウの方向へカメラを向けて実施。日本時間2月26日正午から翌27日午前9時までにリュウグウの姿を捉えることに成功した。

ONCはJAXAと東京大、千葉工大、名古屋大など7大学が協力して開発。山田研究員はチームメンバーとして開発と

観測計画の検討に携わった。

探査機と目標の小惑星との相対位置関係を把握

するデジタルカメラで、視野角60度のモノクロ広角カメラ2台と、7種の波長で小惑星を見る望遠カメラ1台の計3台で構成。はやぶさ2初号機のカメラと金星探査機「あかつき」の紫外イメージング電気系の長所を合わせて改良、分光用フィルタは含水

鉱物を見分けられる。

PERCはほかにも小惑星の内部物質採取時に使う衝突装置やレーザー高度計などの機器開発に貢献している。

山田研究員は北海道出身で北海道大理学部、同大学院などで地球の上層大気などを研究。金星探査機搭載紫外イメージングの開発・運用を経て2012年、PERCに入所。現在、小惑星探査機搭載機器の開発・運用に没頭。探査計画と娘の成長を「同時観測」する日々という。

生命の起源を探索する科学者たちは、土星の衛星タイタンを含む、分厚いヘイズ(有機物エアロゾル)有機物で作られたエアロゾルに注目してきた。酸素濃度が増す以前の原始地球(約25億年前)でも、生命の起源となる前駆物質の合成に適した環境があった可能性があると推測されている。米航空宇宙局・欧州宇宙機関の土星探査機カッシーニが集めた情報で

その結果、①メタンより二酸化炭素が多い大気組成ではエアロゾルの生成率が大きく下がる②生成されたエアロゾル粒子には直鎖状炭化水素に由来する化学結合が多く含

え、そのまま太陽系を離脱していくという。

「地球に最も接近した時の距離は、月と地球の距離の約16倍で、天文学的にはニアミス。もう少し近かったら、ぶつかっていたかも知れない非常にリスクの高い天体でした」とミチ教授。

会場の3Dシアタールームでは高校生など約70人が講演に熱心に耳を傾けていた。講演後には通訳をした荒井朋子主席研究員が「メテオ」プロジェクトなどPERCのミッションを紹介した。

捉えた光学航法カメラ(Optical Navigation Camera: ONC)は、本学惑星探査研究センター(PERC)の山田研究員が開



リュウグウ

はやぶさ2から捉えたリュウグウの光学航法カメラ(JAXA資料から) ⑥は山田研究員

「あかつき」の紫外イメージング電気系の長所を合わせて改良、分光用フィルタは含水

生命の起源を探索する科学者たちは、土星の衛星タイタンを含む、分厚いヘイズ(有機物エアロゾル)有機物で作られたエアロゾルに注目してきた。酸素濃度が増す以前の原始地球(約25億年前)でも、生命の起源となる前駆物質の合成に適した環境があった可能性があると推測されている。米航空宇宙局・欧州宇宙機関の土星探査機カッシーニが集めた情報で

その結果、①メタンより二酸化炭素が多い大気組成ではエアロゾルの生成率が大きく下がる②生成されたエアロゾル粒子には直鎖状炭化水素に由来する化学結合が多く含

え、そのまま太陽系を離脱していくという。

「地球に最も接近した時の距離は、月と地球の距離の約16倍で、天文学的にはニアミス。もう少し近かったら、ぶつかっていたかも知れない非常にリスクの高い天体でした」とミチ教授。

会場の3Dシアタールームでは高校生など約70人が講演に熱心に耳を傾けていた。講演後には通訳をした荒井朋子主席研究員が「メテオ」プロジェクトなどPERCのミッションを紹介した。

さらに光化学反応を計算する数値モデルを構築し解析したところ、従来想定されてきた低次の炭化水素重合反応よりも、粒子表面でメチルラジカル(エネルギーが高まり反応性が高くなった分子)の付着による不均一反応(固体と気体など2種類以上の相の共存状態での反応が顕著)であることがわかった。

これらの結果から、タイタンの中層大気では不均一反応による粒子の成長が卓越すること、また原始地球では従来予想よりも有機物エアロゾル層が薄くなる可能性が示唆された。

タイタン以外に冥王星や太陽系外惑星でもヘイズ層が確認されており、今回得られた知見はそんな天体にも広く適用できると予想されている。

# 地域貢献初の報告会

本学 県下1町10市と創成探る



ポスター発表を見る参加者たち

5学部17学科と大学院の各研究科が、千葉県下の地域課題の解決をテーマに日ごろ行っている教育・研究、アクティブラーニング、課外活動などの成果を一堂に集めた初の「千葉工大地域貢献プロジェクト報告会」が2月28日、津田沼キャンパス7号館で開催された。

報告会の冒頭、あいさつした小宮一仁学長は「地域と大学とのつながりは、一方が他方に貢献するのではなく、ウィン・ウインの関係が大切。お互いに知恵を出し合っ

て、新たな地域創成に取り組んでいくことが重要だ」と強調した。

また、石田御宿町長は同町がメキシコとの国際交流で行っている同国の選抜大学生の日本研修に本学が全面協力していることや、昨年10月に開催した「千葉工大ロケットフェスティバル」などを例に挙げ、「御宿の活性化に多大なご尽力をいただいていることに感謝している。アあいさつした。

この報告会を企画し、開催にこぎ着けた地域貢献担当の鎌田元弘副学長は「本学の地域貢献活動

の狙いは、学生と教職員が一体となって大学全体で地域の課題解決、資源活用などに取り組むことにある。とりわけ5学部17学科の知財を活用して、いろいろな分野の課題解決に取り組むプログラムを構築できることが強みだ。その中で学生を鍛え、社会に有用な人材を輩出するという大学の使命を一層推進していきたい」と話している。

ソフトウエアの開発が期待されていた。そこでステアラボとPERCが共同で、動画上の流星を検出するアルゴリズムの性能を競うコンペを開催することになり、3月3日、東京スカイツリータワーキャンパスで開かれた「メテオ計画 ステアラボとPERCが初共催 流星自動検出へコンペ」

## メテオ計画 流星自動検出へコンペ

### ステアラボとPERCが初共催

人工知能・ソフトウェア技術研究センター（STAR Lab）と惑星探査研究センター（PERC）が初めて共催する千葉工大ならではのコンペティション「メテオサーチチャレンジ」が3月3日、スタートした。

国際宇宙ステーション（ISS）から超高度C-MOSカラーハイビジョンカメラで流星を長期連続観測するPERCの「メテオプロジェクト」が始まったのは2016年7月7日。これまでにPERCには200時間以上の観測動画データが届け、そのデータから600個以上の流星が見つかっている。

しかし、動画上の流星を見つけて作業はすべて研究員の目視で行われている真いを学習する。この機能を活用して、要介護者個々の排泄リズムをパターン化し、介護業務の効率化やケアの質向上、将来的には個々の要介護者に最適な食品や薬品の選定、福祉用具の最適化……など多くの課題を解決。介護に携わる人たちの負担も軽減し、介護現場に明るい未来をもたらすと宇井さんは訴えた。

千葉市中央区のホテルで開かれたこの講演会にはものづくり企業のほか、宇井さんの講演を聴こうと介護業界、福祉行政関係者など全部で約70人が参加した。

369人の申し込みがあり、「千葉工大ステアラボ」の知名度と存在感を示す形となった。講師はデータ分析コンテストの分野ではいづれも世界的な「超」有名人の（株）Studio Asiaの山田育矢氏▽（株）PefterreのNojimaの秋葉拓哉氏▽（株）リクルートテクノロジーズ Advanced Technology Labの小寄耕平氏の3人。

この日の参加者の顔ぶれも普段は眼にすることが難しい企業のデータに触れられる利点があり、ウイン・ウインの関係が成り立っている。この日の参加者の顔ぶれも、このような人工知能の世界の1つの傾向を表しているようだ。

## 青木准教授、宇井さんが講演

### ちば新事業創出NWセミナー

千葉県産業振興センターが産学官連携促進の一環として開催している「ちば新事業創出ネットワークセミナー」で2月14日、本学未来ロボット工学学科の青木岳史准教授と、同学科卒業生で介護機器開発ベンチャーの（株）aba代表取締役、宇井吉美さん（大学院工学研究科博士後期課程2年）が講演した。

青木准教授は、デザインコンセプトから球体外殻を持つ歩行ロボットの研究。このロボットは、災害現場の被害状況などを探索するのが目的。レスキュー隊が災害現場に投げ入れると、回転や4足歩行、跳躍などを自律で行って不整地を自在に動き回り、内臓カメラで周辺を撮影して、その情報を前線基地に送ってくる機能を想定して、開発が進められている。

青木准教授は、デザインコンセプトから球体外殻の構造、脚機構の設計、制御システムの構成、さらに動作実験とそれに基づき改良、今後の研究の展開などを、実験データなどを駆使しながら解説した。

宇井さんの講演テーマは「ロボット技術で、誰もが介護できる未来を！」。AI機能搭載非装着排泄センサー Helpaai（ヘルパアイ）の開発。今後の特長は①ベッドの上に敷くだけで使え、人体に非装着②尿と大便の両方を検知する③個人差のあ

る真いを学習する。この機能を活用して、要介護者個々の排泄リズムをパターン化し、介護業務の効率化やケアの質向上、将来的には個々の要介護者に最適な食品や薬品の選定、福祉用具の最適化……など多くの課題を解決。介護に携わる人たちの負担も軽減し、介護現場に明るい未来をもたらすと宇井さんは訴えた。

千葉市中央区のホテルで開かれたこの講演会にはものづくり企業のほか、宇井さんの講演を聴こうと介護業界、福祉行政関係者など全部で約70人が参加した。

369人の申し込みがあり、「千葉工大ステアラボ」の知名度と存在感を示す形となった。講師はデータ分析コンテストの分野ではいづれも世界的な「超」有名人の（株）Studio Asiaの山田育矢氏▽（株）PefterreのNojimaの秋葉拓哉氏▽（株）リクルートテクノロジーズ Advanced Technology Labの小寄耕平氏の3人。

この日の参加者の顔ぶれも、このような人工知能の世界の1つの傾向を表しているようだ。

このシンポジウムの「まとめ」と題したツイッターには、直後から「名だたるコンペ参加者からの講演の後の『メテオ』の説明もよかった」「とても面白く、主催者・発表者の皆さまに感謝」などの投稿が数多く寄せられている。



講演する④青木准教授と⑤宇井さん



申込者の約6割は企業の開発職と研究職で、この「光る点」ではないため、時間軸の方向を捉える工夫が必要③応募者に提供されるデータセットでは、流星が映っているデータ（正例）200本に対し、映っていないデータ（負例）は9800本あるため、この不均衡を解決しなければならぬ。この難関が待ち構えているという。コンペは今年6月30日終了。賞金は第1位30万円▽第2位15万円▽第3位8万円。

れに企業のその他の職種を合わせる企業関係者が全体の8割を超えた。ここ数年、盛んになってきたコンペティション形式のデータ分析コンテストは、企業側にとって難度が高い課題を参加データサイエンティストに解いてもらえ、メリットがある。一方、参加者側も普段は眼にすることが難しい企業のデータに触れられる利点があり、ウイン・ウインの関係が成り立っている。

# 新時代へPM技法開発

第5回シンポに産官学90人

今回のテーマは「ソサイエティ5.0時代のR&Dプロジェクトマネジメント」。「ソサイエティ5.0」とは、狩猟、農耕、工業、情報化社会に続く第5世代の「超スマート化社会」。このパ

プロジェクトマネジメント(PM)学科の久保裕史教授が中心となって活動している「R&D PM研究会」が2月9日、東京スカイツリータウンキャンパスで「第5回R&D PMシンポジウム」を開催。産業界や大学、官公庁などから予定定員80人を超える90人が参加した。

この研究会は2012年6月に発足した。R&D(研究開発)にPM技法を適用することで、革新的な製品やサービスを産み出す仕組みや組織作りの知識体系構築を目指している。

この日のシンポジウムでは、招待講演2件が行われた。まず内平直志・北陸先端科学技術大学院大教授の「AIとソフトウェア工学・プロジェクトマネジメント」。最近の急速なAI技術の進展がソフトウェア開発やPMに及ぼす影響と留意点を解説した。

続いて白坂成功・慶應義塾大大学院教授による「ソサイエティ5.0時代のR&D PMの進化するシステムデザインアプローチを活かす」。ソサイエティ5.0でシステムデザインの実たす役割を具体的事例に基づいて解説し、反響を呼んだ。続く本研究会員3人の発表はいずれも今年度の博士学位取得につながった成果。

1件目は、垣本隆司氏(Intiswift Inc.)本学大学院後期博士課程マネジメント工学専攻1年生の「IoTプラットフォームを活用したエコシステム戦略」。高度に複雑化したシステムの開発では、数多くの企業が自然の生態系のように緊

密に連携していく必要があり、その戦略構築法を提案した。2件目は、今仁武臣氏(PTCジャパン)による「IoT、AI実装プロジェクト事例とそのマネジメント方法論」。

3件目は、沖浦文彦氏(JICA II本学博士課程専攻3年生)による「社会的課題における持続的価値実現のためのプログラムマネジメント」。

OD A開発におけるプログラムマネジメントのあり方を論じた。久保教授は「ソサイエティ5.0の実現には幅広い英知の結集が必要となる。本学が中心となって、産官学のさまざまな研究者や技術者を巻き込み、このチャレンジングなテーマで成果をあげ、社会貢献を果たしていきたい」と抱負を語った。

平成29年度に各種競技会や学内外の行事で活躍した体育会、文化会のサークルを表彰する第38回祝勝・奨励会が2月8日、津田沼校舎2号館3階大教室で開かれた。今回表彰されたのは体育会9、文化会6の計15クラブ以下を参照。



優勝トロフィーや賞状と参加学生たち

## 15クラブを表彰 祝勝・奨励会

表彰されたクラブは以下のとおり。  
平成30年2月8日(木)17時～ 津田沼校舎2号館3階大教室で

### 第38回 祝勝・奨励会

所属	クラブ名	主将・部長等	部員数	祝勝奨励事由	日付		
体 育 会	空 手 道 部	金融3 牧野 樹	7名	千葉県空手道選手権大会	女子個人組手	優勝 (PM1年 三浦 彩)	5/3
				関東学生定期リーグ戦	女子団体組手	2部優勝	6/4
				東都六工大空手道選手権大会	女子個人組手	優勝 (デザ1年 富永 莉加)	6/25
				秋季関東学生会定期リーグ戦	男子個人組手	有級の部優勝 (先端2年 木村 準斗)	11/12
				全日本大学空手道選手権大会	女子団体組手	出場	11/19
				全日本理工科系大学空手道選手権記念大会	女子個人組手	優勝 (PM1年 三浦 彩)	11/26
				千葉県学生弓道選手権大会	女子個人戦	優勝 (生環3年 大野 里彩)	5/4
	弓 道 部	先端2 萱島 高博	51名	関東学生弓道選手権大会	女子団体戦	優勝	10/8
				中関東ブロックII部リーグ戦女子第5週	入替戦出場	女子II部内優勝	11/23
				習志野市市民総合体育大会・弓道競技	一般式段以下の部	優勝 (金融2年 小野 薫)	11/23
	剣 道 部	機械2 岩畑 拓也	21名	習志野市市民総合体育大会	男子30歳未満の部	優勝 (デザ2年 宮下 慶大)	10/8
	硬 式 野 球 部	電情3 市川 海悠	61名	千葉県大学野球新人戦	新人戦	優勝	7/2
	自 動 車 部	機サ3 兼定 吉登	31名	全関東学生ジムカーナ新人戦	ビックパーククラス	優勝 (機サ3年 兼定 吉登)	2/24
				全関東学生ダートトライアル選手権大会	個人戦	優勝 (デザ4年 石井 与詩乃)	6/25
				全日本学生ダートトライアル選手権大会	個人戦	優勝 (デザ4年 石井 与詩乃)	8/6
全日本学生ジムカーナ選手権				団体戦	優勝	8/20	
卓 球 部	電情3 渡辺 夏音	40名	春季関東学生リーグ	女子団体戦	5部リーグ団体 優勝	5/5	
			四大学対抗卓球大会	女子入替戦	5部→4部昇格	6/10	
			関東学生卓球チームカップBブロック	団体戦	Aチーム優勝	6/11	
			四大学対抗卓球大会	女子団体戦	第4トーナメント優勝	9/5	
			ダブルス戦	優勝 (情報1年 青藤 星夜・NS1年 大木 雅生)	12/10		
二 輪 部	機サ3 大野 慶	46名	キャンパスオフロードミーティング初戦	初級クラス	優勝 (電気2年 照井 遼)	4/30	
パ レ ー ボ ール 部	知能2 加藤 一輝	37名	春季関東大学バレーボールリーグ戦		8部→7部昇格	5/14	
軟式庭球部 (奨励として)	先端2 遠藤 剣太	37名	関東学生ソフトテニス春季リーグ戦(団体戦)で安田 悠人(先端1年)・遠藤 剣太(先端2年)ペア 関東学生ソフトテニス秋季リーグ戦(団体戦)で菅澤 一成(機サ3年)・高橋 幹(経情3年)ペア が全勝賞を受賞、大いに活躍しクラブを盛りあげ、今後の更なる飛躍が期待される。		5/7 10/1		
文 化 会	総合工学研究会	未口2 吉岡 真一	24名	ROBOT JAPAN 14th	RJフライ級	優勝 (電情3年 富田 修平)	9/10
	書道倶楽部 (奨励として)	金融2 渡辺 類	29名	第41回全国学生書写書道展において2名が優秀特選を受賞し、また、内1名が審査委員会賞を併せて受賞した。			9/24
	吹奏楽部 (奨励として)	機械2 望月 雄貴	71名	入学式や学位記授与式をはじめ、津田沼等多くの大学行事で演奏を行っている。また、各種団体からの要請を受け、いきいき夏祭りやJR東日本ベイサイドプロジェクト等で積極的に演奏を行っていることから、大学や地域への貢献が高いと評価できる。			
	天文研究部 (奨励として)	機電2 藤原 克昭	40名	天体に関する催し「星空教室」は事業所内保育所、千葉工大ひまわり保育園の園児に大変人気であり、年に複数回実施している。特に習志野市教育委員会からの要請を受け小学生を対象に実施している「星空教室」は、親子で参加できることから恒例行事となっており、地域における交流の一翼を担っていると評価できる。			
	手芸倶楽部 (奨励として)	金融2 加藤小百合	52名	公民館等で開催されているミニディサービス(地域が支えあい、高齢者が様々な活動を通して楽しく過ごすサービス)に出向いて手芸講習を行い、高齢者の生きがいづくりや交流に貢献していることは評価できる。			
電気研究部 (奨励として)	通信2 千田 泰誠	27名	多くのアマチュア無線コンテストに参加し、上位入賞を果たしている。また、意欲的に他大学との交流を行い文化会の活性化に尽力し、文化会所属サークルの模範であると評価できる。				

# 定年退職者の皆さん

3月に定年を迎えられる教職員の皆さんを紹介し  
ます。思い出や学生たちへの温かい励まし言葉を残して  
くださいました。  
(敬称略)

柳川 博文 (情報ネットワーク学科教授)



常に何かを発見する感性を失わないように

堀内 俊幸 (フロンティアマネジメント学科教授)



長い間ありがとうございました。皆様のご活躍を願っております。

道心堅固

## 教員 (6人)

上田 宏 (建築学科・教授)



大久保 政憲 (教育センター・教授)



皆さん、お元気で

田村 和夫 (建築都市環境学科・教授)



皆様のおかげで、充実した生活をおくることができました。ありがとうございました。

森 弥広 (建築都市環境学科・准教授)



ご自愛下さい。長い間、有難うございました。

小原沢 則之 (国際金融センター主任研究員)



調査・研究・開発に没頭する環境と時間をいただき大変感謝しています。定年退職後も、知的好奇心を持ち続け、創造的な活動に携われたいと思っています。

## 職員 (6人)

唐沢 武 (総務部 事務職員)



Everything is Experience !!

佐々木 章 (総務課 警備主任)



心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

安部 宗悦 (総務課・千種校地 警備主任)



有言実行

ありがとうございました。

馬淵 三郎 (新習志野施設課 技術員)



「何事もやらまいか」

金子 武弘 (新習志野施設課 技術員)



楽しく過ごさせていただきました。ありがとうございます。

曾根 周 (総務課 警備員)



お世話になりました。皆様のご健康と益々のご活躍をお祈りいたします。

## PPA



昨年11月9日に西浜運動施設内に、武道サークルが主に利用する武道場が建設されました。12月16日には道場開きが執り行われ、出席させていただきました。

当日は、空手道部の本学最高顧問(なんと87歳!)やOBの方々の演武等が披露され、高齢とは思えない動きや型に感心させられました。中でも私が注目したのは、新入部員の演武でした。また、入部して半年程度の男子1年生の型が大変素晴らしいので、大学入学以前から稽古を積

んだ経験者かと思っていたところ、彼らは殆ど未経験者であったとのことでした。短期間でここまで成長するのは、やはり全日本チャンピオン5回の実績のある監督の指導と学生の練習の賜物だと思います。

これからはそれに加えて素晴らしい道場が完成し、更に強くなっていくことを期待し、応援していきたいと思えます。

大学事務局長 前田 修作

## 四季雑感



千葉工業大学にお世話になり始めて4年が経過している。私と同時に期に大学に入ってきた、言わば「同期」の学生たちがこの3月で卒業する。

先日、研究室で卒業研究発表を終えた4年生を慰労する会が開かれ、後輩から心のごもった贈り物を受け取り感激のあまり涙する学生もいた。私の学科では3年生から研究室での研究活動が始まるが、一昨年の春、妻が三つ子を出産するという私事で配属直後の彼らに大きな迷惑をかけた。そんな中でも自ら研究に励み、立派に卒業していく姿には逞しさを感じる。

三つ子も妻のご両親の全面的な協力を受け問題なく成長し、1歳半を過ぎて言葉を発するようになってきた。一卵性の女の子で、本人たちの間で

未来ロボティクス学科 藤江 真也

## 編集だより



3月中旬から後半にかけて、恒例ともいえる花粉の飛散に怯えるこの時期は、入学試験が全て終わり「ほっ」と一息つく間もなく入学までの手続き業務が続く。

「とても気に入っている」といふことばがある。それは「縁」といふことば。いつ頃からか定かではないが、仕事上のお付き合いや、イベントへの参加など、色々な方と出会い、「いい出会い、ご縁に恵まれた」といふ「ご縁」コメントを見かけるようになった。

「ご縁」を大切に。これから卒業する学生の皆さん。これまでの素敵なご縁を忘れず、新たなご縁を迎えられますように……ご卒業おめでとうございます。

入試広報課 大橋 慶子